

33 東京大学生徒岡山兼吉他二名「官吏及官立公立私立学校
教員生徒見習生政談演説集会の儀に付建議」進達

〔明治十四年十一月〕

当府士族岡山兼吉外式名ヨリ別紙建言書差出候間則及進達候也

明治十四年十一月十六日

東京府知事 松田道之 印

元老院議長 寺島宗則殿

(附記1)

〔表紙〕

官吏及官立公立私立学校教員生徒見習生

政談演説集会ノ儀ニ付建議

官吏及官立公立私立学校教員生徒見習生政談演説集会ノ
儀ニ付建議

明治十四年十一月七日岡山兼吉等頓首再拜謹テ書ヲ元老院議長
寺島宗則公閣下ニ呈ス伏テ惟ミルニ維新以來庶政更始幕府累世
ノ弊政ヲ一新シ夙トニ諍臣ヲ擢用シ吏課ヲ責メ賢才ヲ擧ケ貿易
農桑漁塩ヲ勸励シ務メテ斯民ヲ提擡シテ文化ノ域ニ進マシメン
トス其化導誘掖実ニ至レリト謂フヘシ而シテ釐政ノ内最モ彰大
ナルモノハ蓋シ言路ヲ洞開シ官民上下ノ情ヲ通セシメ協同一致
共同之政ヲ益々昭明ナラシムルノ 聖旨是ナリ戊辰三月 鳳

詔始メテ下リテヨリ誓言ヲ立サセ玉フテ茲ニ幾回皆之ニ協フノ
德音ニアラサルハナシ而シテ客月十二日ヲ以テ遂ニ明治二十三
年ヲ期シ国会開設ヲ言明セラル、ニ至リタルハ時運ノ然ラシム
ルトコロト雖 聖旨常ニ茲ニアリタルヲ以テニ非サルヨリハ豈
ニ能ク然ルヲ得ンヤ苟シクモ日本国民タルモノ誰カ聖恩ヲ感体
シ此彰大ノ盛擧ヲ贊揚セサルモノアランヤ然レハ此擧ヤ至重至
大其経画ヤ至難至艱前途実ニ容易ナラズ今ヨリ前途ノ方策ヲ画
スルニ当ツテ先ツ其進路ヲ遮断スルモノヲ求メテ之ヲ剪削セサ
ルベカラス是レ清明ヲ贊揚スルノ意ニノ実ニ臣子ノ職分ナリ兼
吉等材識庸暗ナリト雖 聖旨ヲ感体スルニ深シ区々ノ情自
ラ禁スル能ハズ謹ンテ菲言ヲ閣下ニ呈シ聊カ前途ノ阻碍ヲ剪除
シ聖代洪恩ノ万一二報スルアラントス閣下幸ニ之ヲ裁セヨ所謂
兼吉等カ前途ノ阻碍ト認ムルトコロノ者ハ何ゾヤ即チ明治十二
年五月九日太政官達官吏其職務ニ係ル外政談講学ヲ目的トシテ
公衆ヲ集メ講談演説ノ席ヲ開クノ禁同十三年四月五日太政官第
拾二号布告集会条例第七条ニ陸海軍人常備予備後備ノ兵籍ニ在
ルモノ警察官官立公立私立学校ノ教員生徒農業工業ノ見習生ノ
政談ヲ禁スル是ナリ抑モ言論集会自由ノ人生ニ必需ナル固ヨリ
弁ヲ待タス思想ヲ交換シテ自他相益シ以テ交通ヲ活潑ナラシメ
以テ團結ヲ鞏固ナラシメ以テ公益ノ事業ヲ振起シテ社会幸福ノ
進歩ヲ速ナラシムルヘシ夫レ然ルカ故ニ英ト謂ヒ米ト謂ヒ仏ト
謂ヒ開明ヲ以テ宇内ニ魁首タルノ諸国ニアリテハ或ハ社会ニ止
ムヘカラサルモノトシテ不文ニ之ヲ了認シ或ハ殊ニ法律ヲ制定
シテ之ヲ明許シ万一ノ虞ニ供スル等以テ国家ノ大典トナサ、ル

ハナシ兼吉等謹ンテ戊辰 聖詔五条ヲ捧読スルニ我邦亦此自由ヲ明許セラレタルモノナルヲ知ル何トナレバ広ク會議ヲ起シ万機公論ニ決スルト云ヒ上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フト云ヒ官武一途庶民ニ至ルマテ各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシムルト云ヒ旧來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クト云ヒ智識ヲ世界ニ求メ大ニ 皇基ヲ振起スルト云ヒ尽ク言論集會ノ自由ヲ許スニ非レバ能ハザレバナリ而ルニ明治十一年七月太政官第廿九号達ヲ以テ始メテ警察官ヲシテ演説ヲ監視セシメ其国安ニ妨害アリト認ムル者ハ禁止スルノ令ヲ布カレ十二年五月九日達ヲ以テ官吏ノ公衆ヲ集メ演説スルヲ禁止セラレ昨十三年四月五日第十二号ヲ以テ集會條例十六條ヲ頒布セラルル於是乎言論集會遂ニ全ク自由ナルヲ得ス思フニ 聖意ノ此自由ヲ重シ玉フ如此其レ大ナル即チ我政府ノ之ヲ遵奉セラル、論ヲ待タス而メ此制限アリ必ス制限セサル可ラサルノ理由アリテ存スルナラン蓋シ昨年二月二十三日ノ 勅諭ノ如ク士ノ学文アル者多クハ産業ナク農商ノ資産アル者概子智識ニ乏シク或ハ躁進激ニ涉リテ清明ヲ汚サシ^(加筆)ヲ慮リ一時ノ政略ヲ施コ^(サ)レタルニアリテ決^(シ)テ永遠ニ保存スヘキモノニアラサルヘシ法ノ一タビ出ル輕ク之ヲ変スヘキニアラサルハ固ナリト雖氏之ヲシテ其精神ヲ達セシメンニハ亦タ時ニ從テ更革セサル可ラス今ヤ我國勢ヲ觀察シ来レハ隆運ノ緒漸ク開ケ今日ノ人民復タ往時ノ人民ニアラス輿論亦タ漸ク社会ヲ制スルノ勢力ヲ顯シテ彼輕躁浮薄ノ徒ニ其技倆ヲ施サシムルノ地ヲ与フルナシ況ンヤ国会開設ノ期已ニ明示セラレ方ニ今經画之レ急務ナリトス彼集會條例ノ如キモ何ゾ之ニ応スル

ノ改正ヲナサス可ナランヤ條例中實際ニ於テ不便ヲ見ルモノ蓋シ少カラス抑モ不便ノ生スル是レ之ヲ奉スル人ノ罪ニメ之ヲ法ノ罪ト云フヘカラス然レ氏法ニメ自ラ不便ヲ有スルモノアリ兼吉等條例第七條ヲ以テ法トシテ不便ヲ有スルモノト認ム之レ銳意削除ヲ乞ハントスル所以ナリ夫レ物輕重アリ事大小アリ重大ノ為メニハ輕少ノ屈セサル可ラサル亦不得止ナリ 聖意ノ言論集會自由ヲ重シ玉フ如此ニシテ而シテ彼ノ軍人官吏教員生徒見習生ヲシテ独リ 聖詔ノ德沢ニ浴シ必需ノ自由ヲ享ケ得サラシムルモノハ果シテ全国公衆ヲ保存スルニ欠クヘカラストスル乎陸海軍人ノ如キ或ヒハ然ラサル可ラサルノ由無キニ非サル如シト雖氏兼吉等之レヲ以テ全国ノ法律トシ天下ニ布告スルノ要ナキモノト思考ス何トナレバ軍人ニ政事思想アルハ其操縦ニ不便アリ之ヲ禁止セサル可ラズトスルモ軍令ヲ發シテ之ヲ禁止スルハ陸海軍長官ノ權内ニアリ何ゾ故ラニ大政府ノ法律ヲ設ケ治子ク天下ニ布告スルヲ要センヤ然リト雖氏陸海軍人ノ政談演説禁止ニ關シテハ今閣下ニ建白スル所ニ非ス特トリ官吏官公私立学校教員生徒見習生輩ノ政談演説禁止ノ件ノ如キ兼吉等日夜痛歎シテ止ム能ハサル所ナリ謹ンテ案スルニ太政官達ニ官吏ト称スルハ文武上下ノ別ナク官省院使府県ノ勅奏官屬官ヲ総ベ称スルモノ、如シ抑モ是等官吏ガ必需ニ本ツキ 聖意ニ則リテ保チ得可キノ政談演説自由ノ權ヲ伸張スルニ於テ如何ノ重大公益ヲ妨害スル所アリトスル乎官吏公衆ニ向ツテ政談演説ヲ為スハ政略上ノ秘訣ヲ洩ラシ易キノ恐レアリテ然ル乎軍事外交務ノ如キ或ヒハ機密ヲ要スルトコロアリ之レヲ公衆ニ洩ラスハ策ノ得タ

ルモノニ非スト雖ト要スルニ政府ノ公務ハ概子公明正大曠日ノ如キモノナル可シ且ツ又其秘訣ヲ要スルモノハ軍事外交務其事項ニ止マルモノニシテ是レ一般官吏ノ言論自由ヲ禁止スルノ理由トスル能ハサルナリ軍事外交務ノ秘訣事項ニ関スル小數官吏ノ故ヲ以テ一般官吏ノ言論自由ヲ殺ク可ラサルナリ加之ナラス其事項ニ与ルノ官吏ト雖ト特別事項ノ洩ラス可ラサルモノアルカ為メ一般政談演説ヲ禁止セラル、ノ故アランヤ結局事項ノ性質ニ依リ或ヒハ秘密洩ラス可ラサルモノアリトスルモ其長官ノ意見ヲ以テ或ヒハ臨時ニ或ヒハ特別事項ニ命令ヲ出シ章程ヲ設ケハ則チ可ナラン太政官ノ布達ヲ以テ予メ一般官吏ノ政談自由ヲ箝束スルヲ要セサルナリ假令秘訣ヲ洩ラスノ恐レアリテ一般官吏ノ政談自由ヲ箝束ス可キモノトスルモ政府ハ已ニ結社政談スルヲ措テ間ハス焉ゾ公衆ニ向テ政談演説ヲ為スヲ禁スル而已ニヨリテ秘訣ヲ洩ラスノ虞ニ備フルト為スヲ得ン若夫レ秘訣ヲ洩ラスノ虞ニ供セント欲セハ私ニ政談演説ヲ為スモ亦禁セサル可ラサルナリ兼吉等洽子ク万国ノ史乘ニ鑑ミ広ク日本ノ事實ニ察スルニ凡ソ秘訣洩ラス可ラサルヲ洩ラシ以テ政略ヲ誤ラシムルモノハ大概官民私情ノ密話ニアリ却テ公衆ニ向テ公然公務ノ秘訣ヲ洩ラスモノ殆ント稀ナリ夫レ然リ該布達ノ基ツク所政略秘訣ヲ洩ラスノ恐レアリト云ヘル趣旨ニ非ルヤ明ナリ或ハ曰ク官吏各其職ヲ奉ス今之レヲシテ公衆ニ対シ縦ニ政談演説ヲ為サシメハ或ハ官權ヲ借り公衆ヲ強迫シ我意ヲ恣マ、ニスルノ恐レナシトセス是レ官吏ニ商業ヲ禁スルト同一理ナリト抑モ誤謬ノ説ト謂フ可シ何トナレバ官吏ニ商業ヲ行ハシムル如キハ官金

ヲ私用シテ私利ヲ營シ官權ヲ借りテ商賈ヲ強迫スルノ恐レアリト雖ト政談演説ニ至テハ然ラス其演説シタル趣旨之レヲ取捨スルハ公衆傍聴者ノ意内ニアレハ官權ヲ借り人ノ心思ヲ進退スル能サルナリ且ツ仮リニ此ノ恐レアリトスルモ官吏私ニ政略ヲ談スルヲ許ス以上ハ公衆ニ向テ演説スル而已ヲ禁シテ之レヲ防セク能ハサルヘシ加之ナラス私利ヲ挟ミ我意ヲ恣ニセント欲スル狡獪官吏アリトセハ何ソ公衆ヲ会シ公然トシテ之レヲ行フノ策ヲ為サン必ラズヤ私ニ党派ヲ結ヒ隱々冥々ノ中ニ術數ヲ施サント務ムルナル可シ既ニ如斯ナルハ先ツ私ニ政談ヲ為スヲ禁スル最モ欠ク可ラズトス然リ而シテ私ニ政談ヲ為スヲ禁スル事タル到底期ス可クシテ望ム可ラサルナリ要スルニ公衆ニ向テ政談ヲ禁スルノ達果シテ論者ノ言ノ如クナラシメハ亦無益ニ過キサルナリ而シテ其職務ヲ疎カニスルノ弊アリト云フモノ亦事理ヲ弁セサルノ見ト云フヘシ夫レ政談演説ハ政事上ノ思想ヲ演述スル所以ナリ公衆ニ向ツテ之レヲ演述スルヲ禁スルト雖之カ為メ官吏ノ政事思想ヲ禁スル能ハサルナリ既ニ政事思想ヲ懷クノ自由アリ既ニ私ニ之レヲ演説スルノ自由有ス何ソ公衆ニ向ツテ演説スルヲ禁シテ策ノ得タル者トセンヤ且ツ官吏各其職制アリ苟モ之ニ背キ之ヲ怠タルモノハ各其懲戒ヲ設ク故ニ事ヲ疎カニシ務ヲ惰タルモノアラハ其長官之ヲ懲シ之ヲ免スル何ノ不可トスル所アラン抑モ法律ノ目的タル其懲戒ス可キノ行為ヲ定メ其行為アルモノヲ待ツテ之ヲ懲戒スルニ過キス何ゾ行為ナキノ前ニ於テ予メ之ヲ制スルヲ要センヤ論者ノ根拠トスル所其理由ナシト云フ可シ或ハ曰ク官職ハ政府ノ設クル所而シテ政府ハ故ラ

ニ人民ヲ強迫シテ官吏ト為スニ非ス然ラバ則チ之ヲ制限シテ政
談ノ自由ヲ箝束スルモ何ゾ人民ノ自由ヲ妨クルモノトセン苟モ
政談ノ自由ヲ欲セハ去テ民間ニ就カハ則チ可ナリト蓋シ兼吉等
カ論スル所ニ非ルナリ固ヨリ官吏公衆ヲ会シテ演説ヲ為スノ禁
ハ太政官ノ達ニ過キス全国ノ法律ニシテ全国人民ノ言論自由ニ
関セサル疑ヒヲ容レス兼吉等ハ此達ヲ以テ人民言論自由ヲ害ス
ルモノトシテ其不当ヲ建白スルニ非ス唯閣下ニ建白スル所以ノ
モノハ既ニ 御誓文アリ官吏ニシテ必需ノ自由ヲ与ヘラレタル
以上ハ之ヲ防害スルニ必需ノ理由ナクシテ之ヲ禁スルハ 聖意
ニ戻リ必需ニ背クト云フニアリ必用ニアラサル布達ヲ施ヒテ官
吏ノ言論自由ヲ減殺スルモノハ官吏タル身分ニ対シテ不当ナリ
ト云フ而已論者ノ言フ所ハ恰モ天理ニ違フノ法律ヲ見テ政府ハ
其国内ニ不当ノ法律ヲ施クモ何ゾ人間ノ自由ヲ妨害スルト云フ
ト云フ得シ若シ不当ナリトセハ何ゾ速ニ去テ外国ニ移ラサル政府
ハ其国内ニ在ルヘシト束縛セサルナリト云フニ異ナラズ是レ人
間ノ権理如何ニ関シテ毫モ不当ノ法律ニアラズト雖モ一國人民
ノ身分ヲ存スルモノニ対シテハ所謂天理ニ違フモノト云ハサル
ヘケンヤ之ヲ概スルニ官吏公衆ノ前ニ政談演説ヲ為スノ禁ハ日
本人民ノ自由如何ニ関シテ毫モ關係スル所ナシト雖モ其禁タル
苟モ必需ニ非スモ 聖意ニ戻トリ天理ニ背クモノナリ是レ則チ
兼吉等カ執テ以テ官吏ノ身分ニ対シテ不当ノ禁トスル所以ナリ
官吏ノ集会演説ヲ禁スルノ非前叙ノ如シ今ヤ更ニ一步ヲ進メテ
教員生徒見習生ノ集会演説ヲ禁スルモ同シク当ヲ得サルヲ開稟
セン抑モ一國人民タルモノ其階級ノ如何ヲ問ハス又其職業ノ如

何ヲ論セス苟クモ社会ニアルノ人ハ必ナラス政事上ノ思想ナク
ンバ能ハサルナリ世或ハ政事ヲ以テ一種ノ職業ノ如ク誤解シ己
レ之二意ナキ則チ之ヲ知ズメ可ナリト云フモノアリ誤謬ノ甚シ
キモノト云フヘシ蓋シ政事ナルモノハ各人世ニ処スルニ当テ知
ラサルヘカラサルノ者ナリ而シテ之ヲ知ルノ要小ニシテハ一身ノ
幸福ヲ進捗セシメ大ニシテハ一國ヲシテ旺盛鞏固ナラシムル彼
開明国民カ常ニ政事上ノ思想ニ富ムヲ以テ知ルヘシ政事上思想
ノ人民ニ於ケル如ク至重ナレバ之ヲ發達セシムル實ニ教育
一大目的ナリト言サルヲ得ス已ニ教育ニシテ世ノ道ヲ知シメ政
事上ノ思想ヲ發達セシムル目的其一二居ルトセハ之ヲ受ルノ学
生ニシテ決シテ集会演説ノ政談ニ涉リテ不可ナルノ理由アルナ
キヤ明ナリ唯不可ナキ而已ナラズ之ヲ禁シ實地政事ノ如何ヲシ
テ知ラシメザレバ学生ヲシテ徒ニ書冊ニ拘泥スルノ弊ヲ生シ終
ニ誤見ヲ懷キ真理ヲ悟ルヲ得ス迷霧ノ間ニ一生ヲ誤ラシムルニ
至ラン之レ兼吉等カ集会演説ノ学生ニ害アラサル而已ナラス大
ニ益スルトコロアリト云フ所以ナリ且ツ夫ノ物理ノ学ハ現ニ実
物ヲ以テ實際ニ試験セシムルニ非ズヤ而シテ社会ニ接シテ政事
ニ与ルハ同シク是レ政事学生ノ実験ニアラズヤ齊シク是レ実験
ナリ甲ハ深沈静閑ヲ要シ乙ハ活潑有為ヲ要ス其深沈静閑ナルモ
ノ政府之ヲ許シ其活潑有為ナルモノヲ忌ンテ之ヲ禁スルハ豈ニ
權衡ヲ失フ甚シキニアラズヤ然レト或ヒハ言フモノアラン凡学
芸ヲ練習スルニ深沈静閑ニ身ヲ置クヲ要ス既ニ学芸ヲ練習シ又
タ政壇ニ臨ムハ静閑ヲ妨クル而已ナラス勤学ノ時間ヲ失スル
亦タ小少ナラズト此ノ駁論一理ナキニアラサレト未タ之ヲ以テ

政府カ特ニ学生ノ為メニ法律ヲ制定スルノ理由トナスニ足ラス凡ソ学生ノ目的トスルトコロ一ニ足ラス或ヒハ理学ノ蘊奥ヲ極メントスル者アリ或ヒハ法律政事ヲ研究シテ社会ニ実用セントスルモノアリ而シテ其學術ノ性質ニヨリテ或ヒハ静閑深沈ノミヲ要スルアリ或ヒハ實際ノ事体ヲ目撃セサレバ學其用ヲナサ、ルモノアリ論者ノ言ハ一種ノ學術ニ偏シ之ヲ論スル者ト云フ可シ蓋シ官私学校共ニ規則アリ是レ其学校ノ性質其学生智力ノ度ニ応シテ制定シタルモノナレバ是ヲ以テ学生ヲ制スルニ足ル政府ハ宜シク之ニ任シテ可ナラン是レヲ之レナサズシテ却テ学生ノ為メ法律ヲ制定シテ其利ヲ見ル能ハサル人アリ政府ヲ指シテ保護ノ適度ヲ失スト云フモ未タ知ルヘカラス況ンヤ此ノ法律ニソ箱束ヲ解サルキハ或ヒハ政治ニ熱中スルモノヲシテ学校ニ入り學術ヲ練磨スルノ志氣ヲ朽キ以テ終生真正ノ政治如何ヲ知ラシメス政理ヲ冥々ノ中ニ探リ或ヒハ妄拳輕行世ヲ擾乱スルノ賊子トナラサルヲ保セス豈ニ悚然タラサルヲ得ンヤ或ヒハ謂ハン学生演説集会ノ箱束ヲ解クキハ粗暴ノ徒ヲ生シテ社会ヲ擾乱スルノ基タラント是レ決シテ然ラス抑モ粗暴ノ言ヲナスモノ何ゾ学生ニ限ラン苟シクモ粗暴ノ徒ナカラシメント欲セバ一般人民ヲ圧束スルノ途アルノミ況ンヤ今古ノ事實ニ徴シ事物ノ真理ヲ問フニ粗暴ハ学者社会ニ少ナクシテ事理ヲ弁セサル無学人民ニ多シトス然リ而シテ法律ヲ設クル却テ粗暴少ナキ学生ニ蔽ニシテ無智淺識ノ公衆ニ寛ナルハ何ゾヤ尚ホ説ヲナスモノアラン私立学校ノ生徒ハ前叙ノ如ク箱束スヘカラストスルモ彼官立学校ナルモノハ此ニ異ニメ官府ノ自ラ制定シ之レニ入ルト入ラサル

ハ学生ノ自ラ撰フ所固ヨリ甘シテ禁ヲ受サルヘカラズト是レ日本人民ノ身分ヨリスレバ毫モ自由ヲ害スル所ナシト雖モ必需ニアラズシテ之ヲ禁スル彼ノ官立学校生徒ノ身分ニ取リテハ不当ノ法律ト云サル可ラサル猶ホ前条官吏ノ項ニ陳述シタルカ如シ前条列スル論理ニソ誤ラサラシメハ学生ヲ箱束スル更ニ効ナキ而已ナラス却テ害アルモノト云サルヲ得ズ

竊ニ惟ミルニ嚮後八年間ヲ期シテ国会開設アラセラレン一実ニ容易ノ業ニアラズ之カ経画ニ任スル政府ノ責任ヤ亦タ大ナリ抑モ八年ノ期タル長遠ナルガ如シト雖モ政治上ニ取リテハ殆ト條忽ノ間ニ均シキノミ近ク明治七年以來国会論ノ沿革ニ徴スルモ其理ヤ実ニ明々ナリ況ンヤ人事ノ常ナキ往々非常ノ禍難連生シテ改進ノ路ヲ妨クルモノアリ百里ヲ行ク者ハ九十里ニ半ハス政治ニアリテモ業ハ数倍ノ重大ヲ覺ヘテ而后之ニ臨マズンバ其域ニ至ル殆ト期ス可ラサルナリ恭ク思フニ維新ノ宏業其果斷如此是レ今日ノ盛治ヲ訓致シタル所以ナリ今回ノ大業豈ニ戊辰(マヅ)ノ挙ニ讓ランヤ兼吉等竊ニ謂フ国会開設ノ挙其至難王政復古ニ勝ル一遠シト彼ノ一新ノ業タル盛ハ則チ盛ナリ天下ノ耳目ハ因リテ一変シタリト雖モ其実ハ数強藩ノ協力同心覇府ヲ倒シタルニ外ナラス其間固ヨリ幾多ノ艱難ヲ經過スト雖モ之ヲ今日我邦未曾有開国ノ規模ヲ立テサセラレ四民一致立憲為政ノ基ヲ創建セラル、ニ比スレハ何ゾ雷ニ霄壤ノ異ナランヤ又タ嘗テ集議院ヲ開キ公議人ヲ徵セラレシト云フモ亦タ是レ勤王諸藩ノ議事ナルノミ之ヲ整頓スルノ人才其人ニ乏カラサレバ則チ可ナリ今ヤ則チ然ラス我カ 天皇陛下ハ明治廿三年ヲ期シテ議員ヲ召集シ国会

ヲ開設セントノ 勅諭アリ則チ広ク代議ノ士ヲ全国ニ求メ之カ
純良公正ノ議決ヲ以テ 聖旨ヲ翼賛セシメテ望マセラル蓋シ此
拳ヤ二千五百年來創始ノ業ナレバ其整頓ノ困難ナル亦タ想像ス
可キナリ欧米各國代議ノ制已ニ幾世ヲ經過シタルノ土ニアリテ
モ尚且ツ議院ノ整頓完全ヲ得サル者其レ多シ況ンヤ新創ノ国会
ニアリテハ之ヲ調理スル豈ニ二三自任政事家ノ克ク為ス所ナラ
ンヤ独裁專治ノ政体ニアリテハ蟠根ヲ斷ツ極メテ容易ナリト雖
君民同治ノ治体ヲ立ルニ於テ一刀兩斷ノ專決ヲ用フ可ラス 聖
旨已ニ平和ノ改良ヲ望マセラル豈ニ武斷天下ヲ震慄スル維新ノ
拳ニ倣フヲ得ンヤ之ヲ避ケント欲セバ先ツ之ガ備ヲ為スニ若
カス之カ備ヲ為スハ只タ予メ人民ヲシテ代議ノ政治ヲ悟ラシメ
上下ヲシテ感應ノ期ヲ得セシムルニアルナリ代議ノ政治ヲ悟ラ
シメンニハ広ク政談ノ自由ヲ得セシムルニアリ感應ノ期ヲ得セ
シメンニハ上下互ニ私意ヲ去リ公論ヲ主トセシムルニアルナリ
之ヲ為サント欲セバ先ツ官吏學生ノ政談ヲ自由ニシテ政府人民
共ニ議政ノ術ニ慣レ感應ノ途ニ就カシム是レ最モ今日ノ急務ト
スル所ナリ大凡多數ノ論壇ニアリテハ活機ハ其元素ノ運動中ヨ
リ生ス元素ノ良否ニヨリテ活機ノ變遷アリ其親和如何ニヨリテ
運轉ノ円滑ト渋滞トヲ生ス政治ノ進歩ヲシテ平坦ナラシメント
欲セハ先ツ其元素ヲ精鍊スルニアリ即チ官民ヲシテ代議ノ政治
ニ慣レシムル是レナリ我邦今日ノ狀況ヲ回顧スルニ大ニ此点ニ
於テ欠クル所アルヲ覺フルナリ今ヤ在朝ノ人概チ卓落奇才ヲ以
テ維新ノ鴻圖ヲ振起シタルノ士ナリト雖ヒ晨夜事端百出ノ局ニ
當テ曾テ公衆ニ向テ演説等ヲ為スノ機会アラサル則チ彼ノ代議

ノ政体ニアリテ政黨ヲ團結シ勝ヲ政論壇上ニ制スルノ術ニ至リ
テハ或ハ在野ノ処士ニ劣ルナカランヤ然レハ既ニ国会ヲ開カ
ル、政府ノ旨趣貫徹セザルノ不便ハ言ヲ待タズ為ニ政治ノ運轉
ヲシテ扞格セシムルニ至ラン學生ノ社会ノ進路ニ入ラントスル
者必スヤ其術ニ習ハサル可ラス活潑有為ノ演説ヲナサズシテ將
來邦家ノ需メニ応セシメントスル抑モ亦タ難シ是レ則チ邦家ノ
材ヲ嫩葉ニ斷ツモノト云フヘシ豈ニ政府ノ望ム所ナランヤ豈ニ
愛國者ノ希フ所ナランヤ立憲準備ノ經画ヲナス必スヤ官吏學生
ヲシテ政談ヲ自由ナラシメサル可ラサルナリ若夫感應ノ成否^(加)
^(加)ニ關シテハ兼吉等更ニ非言ヲ上ラズンバアラサルナリ事業ヲ
創ムルニ當リ論者互ニ隔心アリ或ハ趣旨相通セス各其私ヲ主張
スルニ至ラバ平和ノ改良ヲ期スルヤ實ニ難シ未タ經画ノ成ラサ
ル業ニ已ニ紛擾ヲ醸シ為ニ国会ノ開期ヲ延延セシムルニ至ラ
ン遲延セシムルモ可ナリト云フ者ハ 聖詔期シ玉フ所ニ違フ者
ナリ之ヲ不可ナリトメ尚且之ヲ避クルノ方ヲ講セサル同ク是レ
聖詔ニ違フモノナリ其開期ニ際シテ陰鬱ノ氣氾濫潰裂スルニ
於テハ或ハ支離取捨ス可ラサルノ不幸ヲ招クナキヲ得ンヤ兼吉
等思念此ニ至リテ惶悸自ラ禁スル^(加)能ハサルナリ時務ニ疎濶
ナルノ論者ハ或ハ云ハン均ク 聖旨ヲ奉戴シ經画ニ從事スル何
ゾ説ノ大差違アルノ理アランヤト嗟如此ハ即チ立憲ノ重大ヲ忽
視スルモノト云ハサルヲ得ス試ニ見ヨ大臣交替ノ有期無期議院
組織ノ一局二局撰挙資格ノ普通制限等殆ト党論相容レサルニ至
ラントスル者其幾許ナルヲ知ラサルノミナラス未タ之カ論端ヲ
開カサルモノアルモ尚ホ之ヲ放擲シテ置ク可シトスルカ抑モ國

会ヲ開キ憲法ヲ定ムル其経画ハ政府ノ権内ニアリト雖任必スヤ輿論ニ感触セラレズンバアラサルナリ若シ輿論ニ採テ方案ヲ画スルナキ是レ^(ママ)戊辰三月五事ノ御誓文ニ違フモノナリ 天皇陛下ノ 聖旨ニ背クモノナリ何ゾ 聖旨ヲ対揚スル政府ノ為ス所ナランヤ然ト雖任集会条例第七条ノ制限アル兼吉等未タ以テ治ク輿論ヲ徴スルノ所為トスル能ハサルナリ能ク天下ノ論点ヲシテ明カナラシムルニアラサルナリ今ノ時ニ当リ感応ノ時機ヲ失ハス又タ 聖詔ニ違ハサラシメントセバ只タ官吏学生ノ政談ヲ自由ナラシムルニアルノミ兼吉等思フ今日ノ政治ニ居テ実務ノ運転スル活機ヲ知り事情ノ適切ナル肯綮ヲ詳ニスル者ハ今ノ官吏ニ如クハナク亦タ深遠ノ理論ニヨリ速ク政理ヲ求メテ近ク邦家ノ益ヲナス者ハ今ノ学生ニ求メサル可ラス官吏ヲノ実務ニ適切ナルノ論旨ヲ吐露セシメ学生ヲシテ真理ノアル所ヲ示シテ輿論ヲ誘導セシムル庶幾クハ国家立憲ノ政体ヲ建テ子孫万世ノ鴻緒ヲ開キ衆庶ト共ニ其慶ニ頼ラセ給ハン 天詔得テ対揚スルヲ得可ク盛衰永ク無窮ニ弥リテ顕彰ス可キナリ然ルニ今マ官吏学生ヲシテ其政談ヲ自由ナラシメサル則チ天下ヲシテ二三人士ヲ除クノ外実務ニ暗ク理論ニ詳ナラサル草莽妄想者流ノ左右スル所ニ任スナカラシヤ我政府ハ始メヨリ民情暢達ノ路ヲ謀ラントシ芻蕘ニ詢ヒ昌言ヲ好ムノ旨意ナルヘシト雖任奈何セン往々政府ノ情意民間ニ通セサルアリ何ソヤ政府ニノ秘密ヲ尊ヒ公明ヲ忌ムニアラズト雖官私地ヲ異ニシ其情從テ疎遠ナルヨリ遂ニ民間ヲノ或ハ政府ノ旨意ヲ疑ハシムルニ至ル彼ノ人民政府ヲ忌ムモノナランヤ忠良純正以テ 皇室ヲ泰山ニ置キ国安ヲ万世ニ

保タント欲スルノ士ニ乏カラズト雖躬自ラ正義ノ説ヲ公衆ニ訴フルヲ得ス徒ニ世途ヲ慷慨スルノミ此時ニ際シ奸譎時ニ乗スルノ徒其間ニ勢ヲ逞フスルニ至ルナカラシヤ自ラ上下ノ情ニ通シテ尚ホ偏ニ政府ヲシテ民望ヲ失ハシムルヲ是レ勉メ官民互ニ猜忌相讎スルニ至ラシメントシ或ハ其説ク所官ノ為ニスルカ如ク私ノ為ニスルカ如ク隱頭極リナク以テ此良民ヲ瞞着セント試ムル者アリ又此機ニ投シテ過激者流ノ輕躁急進自ラ快フスル者アリ奇ヲ好ムノ時勢之ニ応スルアリ豈ニ畏ル可キニアラズヤ此ノ危難ヲ避ケントスル今ノ時ニ当リテ官吏学生ノ政談演説ヲ自由ナラシムルニ外ナラサルナリ感応ノ機正ニ今日ニアル如此其レ明ナルヲモ願スノ或ハ之ヲ到底為ス可ラサルニ付シテ止ム者アランカ是レ等シク時勢ニ疎キノ論説ナルノミ今ヤ 大詔新ニ出テ国是斯ニ定マリ上下互ニ其心ヲ安シテ奮テ経画ニ從事セントス此時ニ当リテヤ政府ハ 聖旨ノ在ル所ヲ詳カニシ人民ハ情志ノアル所ヲ具ニシ共ニ平和ノ論壇ニ立ツ庶幾クハ期スヘキナリ然ルニ政府^(加筆)自ラ尊ク自ラ守リテ敢テ九仞ノ牆内他ノ軒睡ヲ容レシメス学生ノ口ヲ箝シテ穩当ノ説ヲ吐ク能ハサラシムル即チ官ハ益々下情ニ疎ニ民ハ益々 朝旨ヲ疑ヒ一致ノ期愈遠カラサルヲ得ス夫レ勢ノ政談ニ赴ク水ノ下ニ就クカ如シ此際之ニ応スルノ予図ヲナサズンバ遂ニ隱密秘詭ノ團結ヲ生スルニ至ラン古来天下ノ事公ニ議ス可ラサル時ハ必ラズヤ処士横議ノ弊ヲ致タサズンバアラズ窮廬ニ呻吟スルノ余発シテ過激ノ論トナリ進テ暴発ノ挙トナリ政府ハ為ニ良友ヲ失ヒ一國ハ為ニ損害ヲ受ケテ止マンノミ秘密ノ行ハル、官吏ト雖任自ラ安ンスルヲ得ス密

謀秘計用党ノ禍到処ニ生シテ亦タ輯治スヘカラサルニ至ラン天下遂ニ小人ノ掌摩ニ帰セントス勢此ニ及ブ政府ハ即チ压制手段ヲ用ヒテ之ニ応ゼズンバ何ヲ以テ国安ヲ保維スルニ足ランヤ兼吉等私ニ痛ム政府ハ則チ揚言シテ曰ク時會ノ輕躁急進ナル之ニ応スルノ策他ニ求ムヘカラスト何ゾ知ラン其実則チ上下感応ノ期ヲ誤ルニアルヲ願フニ我政府ノ賢明ナル必スヤ此ニ見ルアリ官吏学生政談演說集會ノ禁ヲ解キ大機ヲ失ハサルヲ勉メ国会開設ノ經画ヲ之急ニスルハ兼吉等信シテ疑ハサル所ナリト雖モ今ヤ未曾有ノ盛時ニ際シ論議紛出交々獻替之レ勉ム或ハ政府ニシテ一タヒ發布シタル条例ヲ廢シ広ク政談ノ自由ヲ許シテ經画ヲ人民ト共ニスル其威ヲ損スルナリトノ説ヲナスモノアル其國ヲ誤ルヤ復タ回ス可ラサルモノアリ微衷自ラ禁スル能ハス冒瀆ヲ願ミス敢テ閣下ニ敷ク閣下其レ裁スル所アレ兼吉等再拜

明治十四年十一月七日

東京大学法学生

東京府士族

岡山兼吉

東京大学寄宿

東京大学文学生

広島県士族

山田一郎

東京大学寄宿

新潟県平民

市島謙吉

神田区裏神保町六番地寄留

元老院議長 寺島宗則殿

明治十五年三月十八日

(注記2)

大臣 花押 (有橋川) (岩倉)

内閣書記官 (金井) (谷森)

元老院上申石川県平民石寄謙建議分県ノ事外四件

右回覽ニ供ス

參議 大木花押 伊藤 西郷 山田 大山花押 福岡
山縣 井上 松方 川村 佐々木

一石川県平民石寄謙建議分県ノ事

一山形県平民信太歌之助建議北京創定ノ事

一鳥取県平民堀尾岩内以下六十式人ヨリ本県再置奉戴ノ事

一愛媛県平民小西甚之助建議前參議板垣退助叙勲ノ事外二件

一東京府士族岡山兼吉建議政談演說集會ノ事

(注記1)

「五」(簿冊内件名番号)

(注記2)

「元乙一〇号」

(注記3)

「済」

〔明治十五年 公文附録「元老院」
建白第一〕 2A, 10, 3394